



Weekly

尾張旭ロータリークラブ



- ・会長 菊田 利昭 幹事 谷口 亜弥
- ・例会日 毎週金曜日 12:30
- ・例会場 〒488-0801 尾張旭市東大道町原田 2570-3 尾張旭市商工会館内
- ・事務局 尾張旭市商工会館 TEL 0561-54-1263 FAX 0561-54-8945
- ・E-mail: jim@owariasahi-rc.org URL: http://www.owariasahi-rc.org



世界に希望を生み出そう

2023-24 年度

RI テーマ 世界に希望を生み出そう

地区方針 培おうプライド、育もうブランド、そして未来へ！！

本日の例会プログラム 2023年9月15日 (第2476回) No. 2353

点鐘 12:30
齊唱 それでこそロータリー

卓話担当者 東尾張分区 ガバナー補佐
津坂 守英君

卓話者 //
演題 「ガバナー補佐訪問に因んで」



歓迎

ガバナー補佐 津坂 守英 (つさか もりひで)
生年月日 1952年(昭和27年)12月24日
所属クラブ 名古屋城北ロータリークラブ
職業分類 重機機械リース
勤務先 〒460-0015 名古屋市中区大井町3-15
TEL: 052-321-1073 FAX: 052-322-0178
E-mail: lem05165@nifty.ne.jp

前回の例会記録 2023年9月8日 (第2475回)

○齊唱: 「我等の生業」
○出席者: 会員 21名中 14名出席 出席率 66.66%

会長挨拶 菊田 利昭



明日は重陽の節句です。私は節句というものをよく知らず、1月1日とか2月2日という具合に月と日と同じ数字の日を言うのかと思っていたのですが、調べてみたら違っていました。今日は節句についてご紹介したいと思います。

節句とは、「季節の節目となる日」のことで、もともと奈良時代頃に中国から伝えられた「陰陽五行説」が由来とされており、古くから年中行事を行う節目

として大切に扱われてきたそうです。五節句はすべて「奇数が重なる日」が選ばれていますが、これは陰陽五行説において「奇数=陽(発展)・偶数=陰(不安定)」ととらえるなかで、奇数同士を足して偶数になる日は「陽から転じて陰になりやすい」とされていたことから邪気を祓うための行事を行ったことが主な理由とのことです。ちなみに五節句は、江戸時代に幕府が特に重要な節句を公式の祝日に制定したのがルーツですが、現在は5月5日の端午の節句のみが祝日として残っています。1月7日・・・人日(じんじつ)の節句(七草の節句)前年の厄を祓い、新年の無病息災を祈願する節句です。節句料理として当日の朝に七草粥を食べる地域が多いことから、「七草の節句」とも呼ばれています。3月3日・・・上巳(じょうし)の節句(桃の節句)

基本的教育と識字率向上/ロータリーの友月 間

例	9月22日(金)	9月30日(土)	10月7日(土)	10月11日(水)
会	休会	月見例会 (9/29 振替分)	(6日振替分) 尾張旭市民祭協賛 苗木配布	(13日振替分) ガバナー公式訪問 ホスト: 瀬戸 RC
予	定款による休会	場所: 椎の木とイノシシ 受付: 17:30 点鐘: 18:00	担当者: 社会奉仕委員会 場所: スカイワード あさひ	卓話担当者: 酒井 法文 ガバナー 卓話者: // 演題: 「ガバナー訪問に因んで」
定				

女の子の健やかな成長を祈願する節句です。「桃の節句」や「雛祭り」とも呼ばれるこの節句の歴史は古く、『源氏物語』の時代から人々に浸透していたと言われています。雛人形を飾り、白酒(甘酒)や菱餅、ひなあられといった行事食を用意してお祝いするケースが一般的です。

5月5日・・・端午の節句(菖蒲の節句)

男の子の健やかな成長を祈願する節句です。五月人形を飾ったり、勝負事に強くなるように菖蒲湯に入ったりと縁起を担ぐ風習があり、行事食として柏餅や、ちまきを食べてお祝いします。

7月7日・・・七夕(しちせき)の節句(星まつり)

「七夕様」「七夕祭り」とも呼ばれるこの節句では、星の祭りとして行事が行われます。古来中国から伝わった織姫星(こと座のベガ)と牽牛星(けんぎゅうせい。わし座のアルタイル)の伝説が由来で、それがもともと日本に存在していた「棚機(たなばた):乙女が着物を織って棚に備え、神様に捧げる行事」と結びついたことがルーツとされています。

古くから天の神が降り立つ目印として笹竹が用いられていたことから、短冊に願い事を書いて笹竹に結び付ける風習が広まったそうです。

9月9日・・・重陽の節句(菊の節句)

最も大きい「陽」の数である「9」が重なるこの日は「重陽」と呼ばれ、不老長寿を祈願する節句です。この日は天の力が最大となるそうです。古くから菊は邪気を払い長寿の効能がある植物と信じられていたことから、菊の香りを移した「菊酒」を飲んだり、菊の被綿(きせわた:綿を菊に被せて一晩置き、朝露を染み込ませたもの)で身体を清めたりといった風習がありました。また、栗の収穫時期と重なることから「栗の節句」とも言われ、庶民の間では栗ご飯を食べて祝っていたとも言われています。近年ではあまり馴染みがありませんが、かつては五節句を締めくくる重要な行事として盛んにお祝いされていたようです。

明日の重陽の節句には、菊の花びらを日本酒に浮かべて飲みながら、ご家族で日頃の感謝やお互いの夢・目標を語り合うといいそうです。この日に「こうなったらいいね」と話し合ったことは全部叶うそうです。是非試してみてください。

幹事報告

次回の例会:ガバナー補佐訪問

次回の会合:ガバナー補佐・会長・幹事懇談会

於第1会議室 11:30

第3回クラブ協議会 於第1会議室
13:40~

ニコボックス

○古橋さんの卓話を楽しみにしています。

菊田 利昭君、谷口 亜弥さん、加藤 知徳君
金森 俊輔君、桜井 雅博君、箕輪 良孝君
山田 直樹君

○本日臨時理事役員会を開催致します。急な事で申し訳ありませんが、よろしくお祈いします。

菊田 利昭君

○本日、健康トレーニングです。皆さんどんどん慣れてきていますので、新しい脳トレをチャレンジしていきたいと思ひます。 田中 祐子さん

○来週の例会に少し遅れるかもしれませんが、よろしくお祈いします。 長谷川 裕君

○本日、いつもの拙い卓話をさせていただきます。 古橋 裕志君

○久しぶりにすずしい例会日です。 森井 晴生君

ポールハリスフェロー+2贈呈



谷口伸夫君
ポールハリスフェロー+2
贈呈

健康トレーニング



卓話

「若き日の仕事旅」

古橋 裕志

私も年を重ねたせい
か、約50年前の若き時
代がふと思い出されま
す。

ところで皆様、御召し
列車を見た事がござい



ますか。私は小学校1年頃、昭和天皇が列車で手を振っている所をかすかに覚えています。それから幾年たって、名古屋へ就職が決まり、3年後に市内の出張員に。2年後に内勤、その後、岡崎、豊橋等の東三河等の出張員。その時はよく赤い電車を利用しました。その後また内勤、2年後に地方の出張員に。その会社の出張員は総勢16名、百貨店専門で2名、市内3名、西三河地区、東三河地区、尾張地区で各1名、岐阜地区、三重地区で各2名、そして地方は、北陸地区、信州地区、東海道陸、そして関東・東北・北海道で各1名の配置でした。

私が最後に勤めた出張先は関東・東北・北海道の担当で、冬場は列車、春夏秋は商用車で毎月1週間の行程で出張。4年間勤め、人生にとって良き経験、良き見聞を積ませていただきました。

最後はある部門の営業課長を勤めて、43才で退職、今、この様にして、会社代表を勤めさせていただいておりますが、この出張員時代の人との交わり、接し方、商売の在り方が、今、糧になっていると思ひます。その行程は・・・で、常に時間に追われていた様な気が致します。

作家の城山三郎さんは、「旅は日常と違う時間との空間をいかに愉しむかにあり」と述べられており、私もこの6月に、仕事を忘れ、家庭も忘れて、のんびりと2泊3日で列車で旅をしましたが、最終的には時間に追われました。ああ、のんびりと、時間を忘れて、各駅停車で。